



乱雑になっている自転車置き場

## 決算特別委員会の 主な質疑応答

平成18年度決算は、決算特別委員会を設置し、一般会計及び各特別会計決算を審査しました。全体審査のあと各分科会で詳しく審査され、各分科会委員長から決算特別委員会委員長へ審査の報告があり、質疑・討論のあと採決がおこなわれ、一般会計及び各特別会計決算を全員起立で認定しました。

### 全体質疑

- 奥山 克弥議員
  - Q 委託料、廃棄物収集運搬料は昨年と同額ですが、役場で出るゴミの大半が紙とあります。節減できるのではないかと。
    - A 庁舎等廃棄物収集・運搬・処理業務委託料は、庁舎だけではありません。公共施設、福祉会館、保育園、学校も含めて町内の業者へ運搬、廃棄、処理をお願いしております。大半は処分場を持っていき焼却している状況です。
  - Q 役場の自転車置き場の中に、いろんなゴミが乱雑に置かれており、鉄くず・消防のポンプ・自転車等があります。整理して有価物として出しはどうか。
    - A 十分意をもちいて清掃、あるいは不用品の換金をしたいと思えます。
  - 遠藤 宏司議員
    - Q 機材、駒籠の集落ポンプの入札をやり直して低く入札した経緯がありますが、もう少し執行率を下げ、不用額が増えることを望めないのか。
      - A 基本的には執行率が下回ってはいけません。不用額が判明した時点で、補正で減額をしております。
    - 小林 征雄議員
      - Q 歳入財源が年々厳しくなるなかで、基金を減らすことがなかったことについては、町長をはじめ経費削減に努力した職員、他の方に感謝します。財政事情は改善の兆しがあるのか。
        - A 厳しいことについては変わりません。利子と元金の支払状況、いわゆる公債費・起債は少しずつではありますがピークを過ぎつつあります。
      - Q 国民健康保険特別会計のなかで、基金と繰り入れ額が毎年合わないのはどうしてか。
        - A 基本的には年度に締めております。基金についても同じです。国保特別会計については医療の支払いが出納閉鎖まで延

- 村岡 藤弥議員
  - Q 里山スキー場の索道で稼働していません。前の運営委託料のなかの委託料にありました。賃金に索道員賃金という形で200万円あるが。
    - A 里山スキー場の索道に従事して下さる方に委託料を計上しておりますが、新潟陸運局の指摘があり、年度途中で賃金に予算の組替えをしております。
  - Q 財産の物品のなかで、100万円以上のものが計上されると理解していましたが、公認グラウンド用のマットは。
    - A 亀井田中学校の公認グラウンド用のマットです。現在、公認は受けておりませんが、20数年前の備品として必要でした。金額的には120万円だったと思います。

### 委員会審査報告

平成19年第3回定例会本会議から付託された認定議案9件について、去る9月7日に全体審査をおこない、さらに専門的に審査するため、9月10日及び11日の両日に各常任委員会を単位とする分科会を開催し、詳細に審査いたしました。

分科会の審査結果は、いずれも原案のとおり認定すべきであるとす報告であり、本委員会においても認定すべきものと決定しました。

決算特別委員会  
委員長 関 幸悦

## 平成18年度

一般会計 歳入74億6542万円  
8特別会計 歳出72億7743万円  
総額 を認定

### 各会計歳入歳出決算額

(単位：万円)

区分	歳入	歳出
一般会計	415,533	400,793
特別会計	331,009	326,950
国民健康保険	84,341	83,091
老人保健	99,879	99,879
次子簡易水道	847	847
学校給食事業	10,410	10,411
農業集落排水事業	20,345	20,344
国営村山北部土地改良事業	10,051	10,044
駅前土地区画整理事業	51,001	50,997
介護保険	54,135	51,337
合計	746,542	727,743

平成18年度各会計決算については、議長を除く15人の委員で構成する決算特別委員会に付託し、さらに各常任委員会ごとに3つの分科会を設けて慎重に審議しました。そして、最終日の12日には決算特別委員会から審査結果の報告がおこなわれ、平成18年度の各会計については原案のとおり認定しました。

### 決算規模

一般会計、特別会計を合算した決算規模は、歳入74億6542万円、歳出72億7743万円、歳入が前年度に比べると歳入で

は0.7%（4967万円）、歳出1.0%（7346万円）で共に減となっている。会計別では、前年度と比較すると一般会計では歳入歳出とも減となっているが、特別会計は増となっている。

### 決算は適正

#### 監査の審査報告

審査に付された平成18年度一般会計及び8特別会計の歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、各会計実質収支に関する調書及び財産に関する調書は、法令に準拠して作成されており、その係数は関係諸帳簿及び証拠書類と照合した結果、誤りのないものと認められる。

代表監査委員 柴田 晃  
監査委員 大山 二郎



本会議での決算審査報告